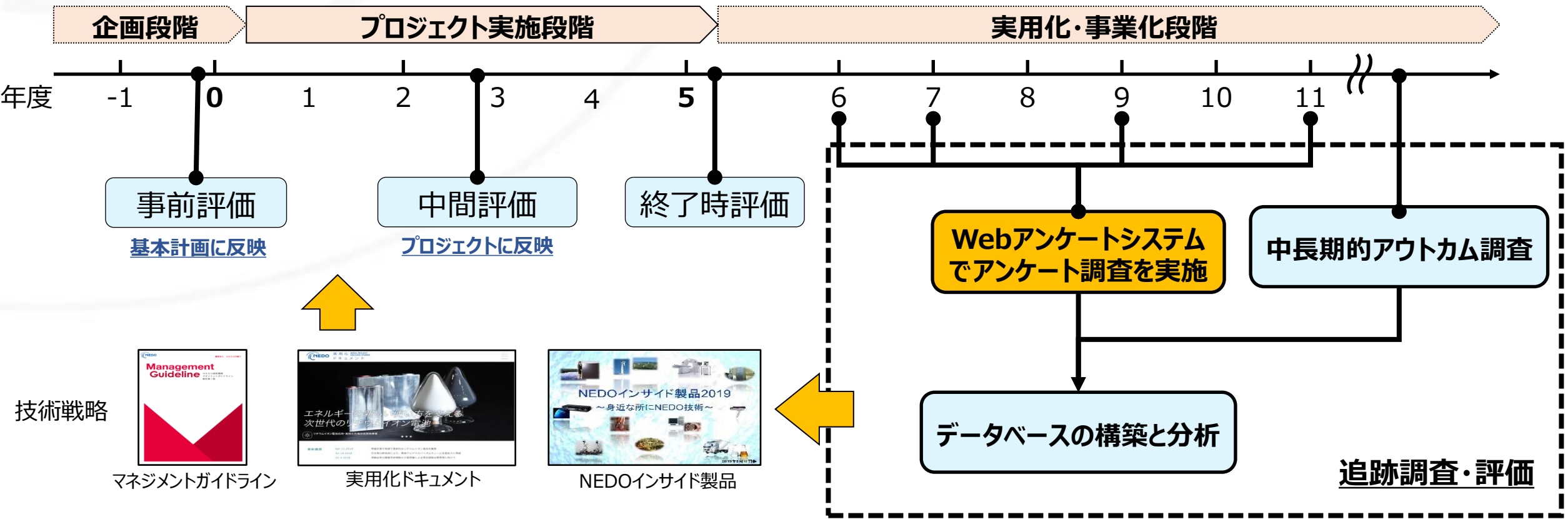


2025年度・委託調査・公募説明会

「追跡アンケート調査のデータ取得体系に関する調査」に係る公募について

- NEDOではプロジェクトの成果の最大化に向け、知見の蓄積・提供を目的とした追跡アンケート調査を実施。プロジェクト終了後、契約・交付単位で企業・大学等へ1・2・4・6年目のタイミングでアンケート調査を実施することで4回分の時系列データを取得。
- Webアンケートシステムを用い、各組織の担当者へ、固有識別のユーザIDを付与して、アンケートURLを一斉送信（例年8月ごろに1500-2000件ほどを一斉送信）。



2025年度委託調査の概要

「追跡アンケート調査のデータ取得体系に関する調査」



背景・目的など	1. NEDOでは、2004年度以降、プロジェクト終了後に追跡調査・評価（追跡アンケート調査、インタビュー等）を実施し、技術開発のプロジェクトおよびマネジメントデータを蓄積してきている。 2. これまで、NEDO特有のリスクの高い技術開発領域が持つ特徴・事象に関する知見が限られていたこと背景に、マネジメントにおける教訓の理解といったPDCAサイクルを主眼としたデータ活用がなされている。 3. 他方で、マネジメント手法におけるOODAループの視点に注目があつまる中、プロジェクト進捗に応じた逐次の軌道修正材料として、現状診断や確率的予測の結果を提供するようなデータ活用形態は、マネジメント手法の高度化に向けて検討の余地があると考えられる。 4. データ取得体系やそれらに紐づく分析手法を検討し、将来的な追跡アンケート調査の運用・設計の刷新に向けた試行的な取り組みを行うこととする。
調査項目	1. データ活用施策の整理と企画立案 2. 追跡アンケート調査の設問設計 3. データ取得後の運用スキームの検証について 4. 次年度以降の対応方針と検討課題について 5. 有識者会議の設置と進捗報告について
期待するアウトプット	1. 2026年度の追跡アンケートの調査票 2. 次年度以降の運用拡張に関する提案 3. 調査報告書
実施年度・予算	2025年度・4000万円以内
参考	1. 2024年度調査・「追跡調査結果に基づくN E D Oプロジェクトの成果把握及び研究開発マネジメントに関する調査」の成果報告書は、「成果報告書データベース」から検索できます。 2. 従来の追跡アンケート調査で使用している設問例を希望者には配布しますので、事務局までご連絡ください。

2025年5月23日 公募予告開始

2025年6月20日 公募開始

2025年6月26日 公募説明会

2025年7月22日正午 公募〆切

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。

2025年7月31日 外部有識者による採択審査委員会

- 必要に応じてプレゼン審査を実施しますので資料のご準備をお願いします。
- 公募締め切り以降、事務局から詳細をメールをいたしますが、ご対応いただく場合には、資料は7月29日 17：00までに事前提出ください。
- 委員会当日（7/31）の提案者側の対応時間帯は、9：00-15：00 を予定しています。
- Microsoft Teams を使用したウェブ形式で、プレゼンを実施予定です。この際、発表15分、質疑15～30分を想定しております。

2025年8月上旬（予定） 契約・助成審査委員会

2025年8月中旬（予定） 採択通知

2025年9月中旬（予定） 契約締結

(1) 公募方式

調査委託

契約締結にあたっては、最新の「調査委託契約約款」及び「秘密情報等の管理に係る特別約款」を適用します。

契約時に「**実施計画書**」を作成し、終了時に「**調査報告書**」を作成いただきます。

委託業務の事務処理は、「委託業務事務処理マニュアル」を参照してください。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

委託業務事務処理やプロジェクトマネジメントに関する一連の手続きについては、NEDOが運用する「NEDOプロジェクトマネジメントシステム」を利用していただくことが必須になります。

(2) 提出期限及び提出先

公募要領に従って「提案書」を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までに、Web入力フォームにてアップロードしてください。提案書類を受理した際は、提案書類の受理を提案者にメールにて通知します。

提出期限

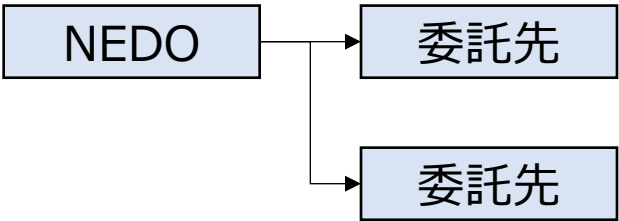
2025年7月22日（火）正午アップロード完了

提出先(Web入力フォーム)

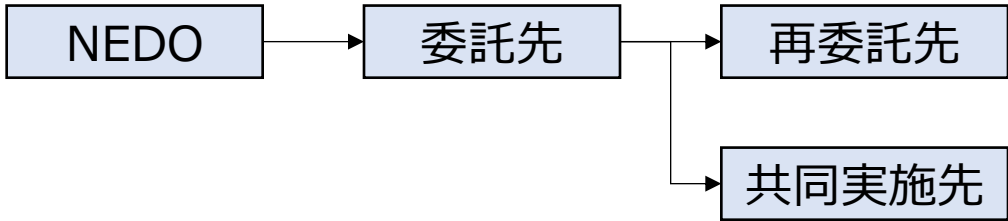
<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/3drcbp6wbxga>

- 提案においては、「NEDOとの契約先が複数想定される共同提案（連名契約）」もしくは「NEDOとの契約先から業務の一部を再委託・分担する再委託・共同実施先」の実施体制に応じて必要書類が異なりますので、ご検討の上で提案書類のご準備をお願いします。
- 再委託・共同実施先を含む体制をご検討の場合、委託先からの管理や経費計上の考え方に留意事項がございますので、委託業務マニュアル（※）をご参照ください。なお、外注先については、経費計上の考え方から、委託項目の本質的な部分である研究開発要素を含む業務（調査を含む）は外注不可となりますので、ご注意ください。

● 共同提案（連名契約）のケース



● 再委託・共同実施を伴うケース



- ・ 再委託：委託先が委託業務の一部を第三者に委託すること
- ・ 共同実施：委託先が第三者と委託業務の一部を共同研究すること
- ・ 再委託費及び共同実施費の合計額は委託先及び NEDO間の契約金総額の50%未満とする

#	提出書類（アップロードするファイルを書類毎に作成し、全て PDF 形式で、一つのzip ファイルにまとめてください）	
1	提案書	1提案につき1書類を提出（複数の委託先、再委託先、共同実施先の情報を代表者が取りまとめください）
2	企業情報	1提案につき1書類を提出（複数の委託先、再委託先、共同実施先の情報を代表者が取りまとめください）
3	ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況	1提案につき各委託先から提出（再委託先、共同実施先は不要）
4	NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス	1提案につき各委託先から提出（再委託先、共同実施先は不要）
5	直近の事業報告書及び直近 3 年分の財務諸表	本公募については1提案につき、委託先、再委託先、共同実施先、各法人から提出（書類の結合は不要）。

■現在のアンケート調査票の種類や設問規模も大きく、複雑なため、今回の委託調査でこれらのアンケート調査票を単純化する方向も含め検討したい。

● 調査票種類

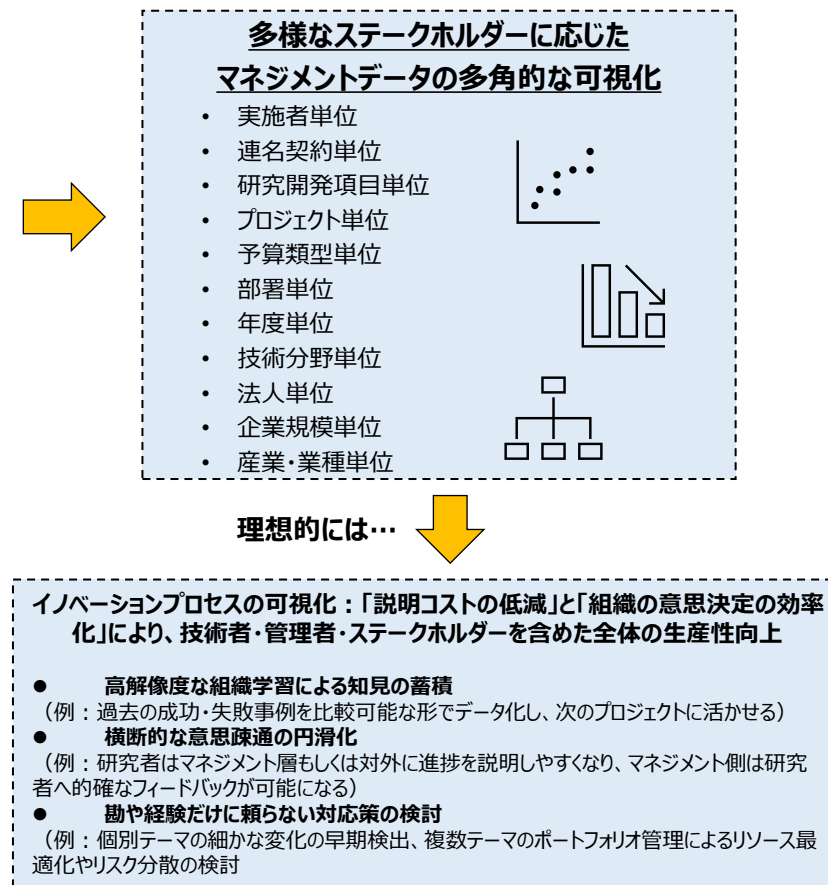
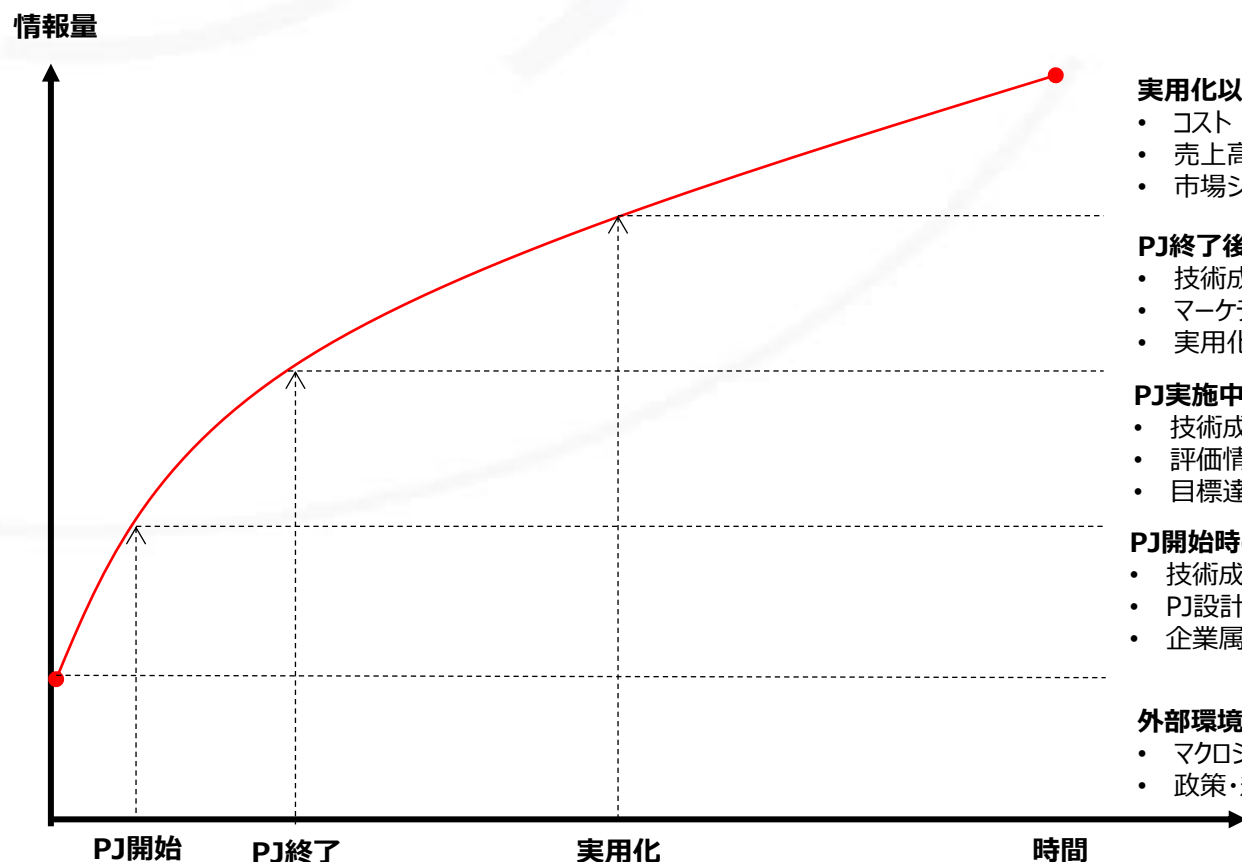
事業類型	送付先	調査票種類（年度ごとに設問変更あり）
プロジェクト	企業	「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 「簡易上市」：製品化・上市に関する設問で構成 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成 「簡易中止」：中止・中断段階に関する設問で構成
プロジェクト	企業以外 （大学・国研）	「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成
制度・事業	企業	「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 「簡易上市」：製品化・上市に関する設問で構成 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成 「簡易中止」：中止・中断段階に関する設問で構成
制度・事業	企業以外 （主に大学・国研）	「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成

● 調査票毎の設問数規模
(分岐等も含まれるため、すべての設問を回答するわけではない)

2024年度・調査票種類	設問数
【11】2024 PJ) 企業) 終了直後調査	193
【12】2024 PJ) 企業) 簡易調査	92
【16】2024 PJ) 企業) 簡易上市	71
【18】2024 PJ) 企業) 簡易中止	74
【21】2024 PJ) 企業以外) 終了直後調査	52
【22】2024 PJ) 企業以外) 簡易調査	46
【31】2024 制度) 企業) 終了直後調査	105
【32】2024 制度) 企業) 簡易調査	59
【36】2024 制度) 企業) 簡易上市	38
【38】2024 制度) 企業) 簡易中止	45
【41】2024 制度) 企業以外) 終了直後調査	37
【42】2024 制度) 企業以外) 簡易調査	13

■ 技術開発プロジェクトでは一般に説明に要するコストが高い

1. 技術的な複雑性（専門知識が必要）や成果発現のタイムラグ（長期的な研究であり、即時評価が困難）
2. 板挟みの開発フェーズ：基礎研究における新規性・論文のインパクトが最適な指標ともいえず、商業技術として収益性・市場競争力といった指標で明瞭に表現しきれない「グレーゾーン」

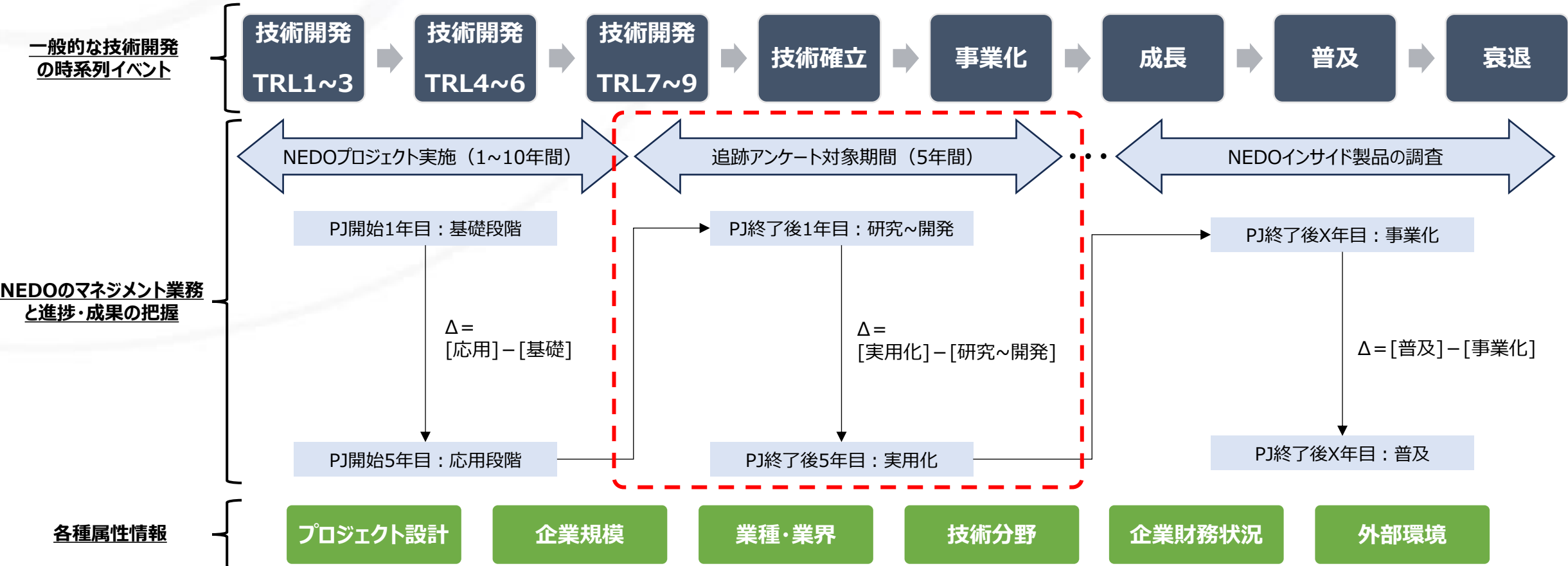


- 「技術開発マネジメントの説明コストの高さ」に起因しているであろうリクエストが多様な立場・視点から挙げられている。
- また、データ活用の機運が高まる中、データの可視化やマネジメントデータの全体設計を分析・解析の手法の適用方式を見据えながら見直すことで対応進めたい（生成AIを使うとしても、一定程度整理されたデータを基にした文脈生成が不可欠）

技術開発プロジェクトのマネジメントにおけるデータ活用ニーズの想定例	内容
個別テーマの現象把握と予測	● マネジメントにおける教訓の理解と知見蓄積（実用化・中止の要因・教訓） ● NEDOのマネジメント貢献把握（マネジメント施策の効果測定・因果関係の可視化） ● テーマ単位の管理・進捗把握（逐次的な軌道修正材料や事後フォローアップ）
複数テーマの状況把握	● 組織指標（KGIやKPI） ● プロジェクト単位の管理・進捗状況 ● 組織運営（ポートフォリオマネジメント、意思決定の支援）
組織貢献の可視化	● 費用対効果 ● 広報媒体（インフォグラフィック）

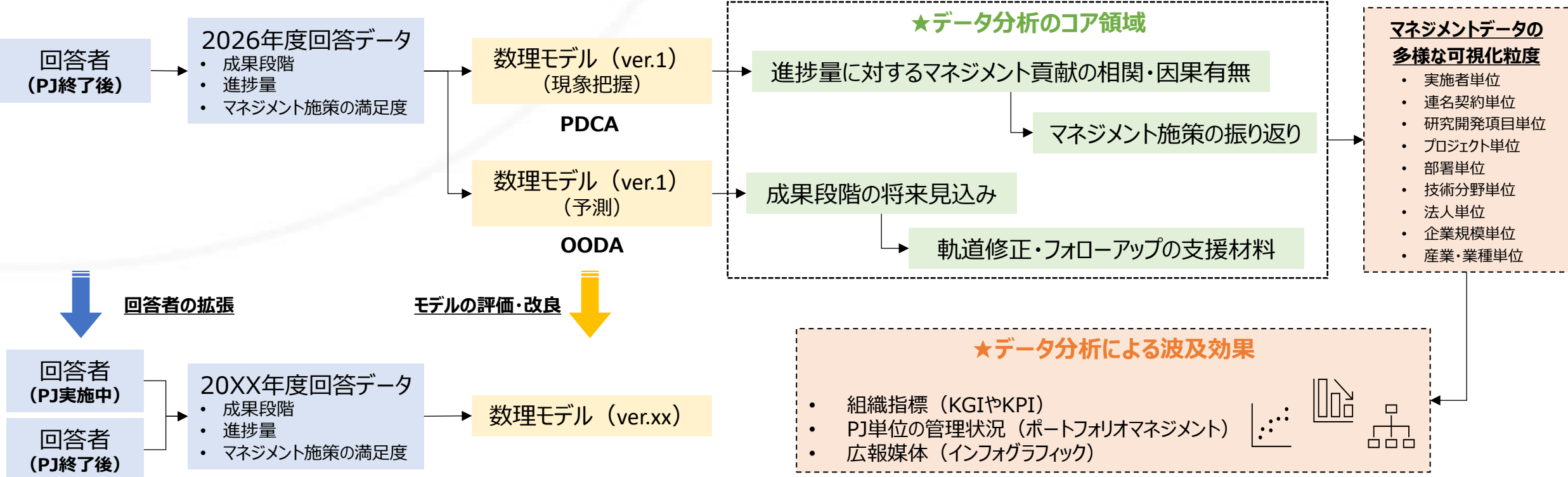
本委託調査では研究開発～実用化までのフェーズに注目

- 次期中計に向けた準備として、技術開発～普及の一連のイベントを時系列視点で再考し、取るべき情報とそのタイミングを特定し、分析・可視化を意識した一貫性のあるデータ取得体系へと運用を徐々に変えていきたい。
- 2025年度（本調査）：対象期間は「プロジェクト終了後～5年間のアンケート調査票」、分析対象は「個別テーマのモニタリング」を中心に検討する。
- 2026年度以降の終了後のアンケート実施と実データ解析、プロジェクト実施期間中のアンケート調査実施の可能性、複数テーマの可視化など含め将来的な検討事項をイメージしながら、本調査の落としどころを探索。



- PDCA向けでは、従来行っていたようにデータを蓄積することで過去の振り返りと組織のプロジェクトマネジメント施策への改善へ活用するが、それらをより高度に分析できるようなアンケート設計の見直しを進めたいもの。
- OODA向けでは、事業者の進捗状況に合わせた軌道修正を念頭にした逐次情報提供に特化したアンケート設計とデータ解析手法を整備することを目標として新規に取り組みを進めたいもの。

■ 今後のデータの利活用で検討したい内容



① データ活用施策の整理と企画立案

データの関係性や時系列などの位置づけを整理し、データ利活用の視点に向けた企画資料を作成



② 追跡アンケート調査の設問設計

NEDOの技術開発プロジェクト終了後のアンケート設計



③ データ取得後の運用スキームの検証について

データ取得～分析の実務とデータ活用までのサイクルを俯瞰し、データ活用施策に照らし合わせてながらフィードバック



④ 次年度以降の対応方針と検討課題について

アンケート運用の拡張やデータ駆動型のマネジメント手法の高度化など次年度以降の展望・方針を整理



⑤ 期待するアウトプット

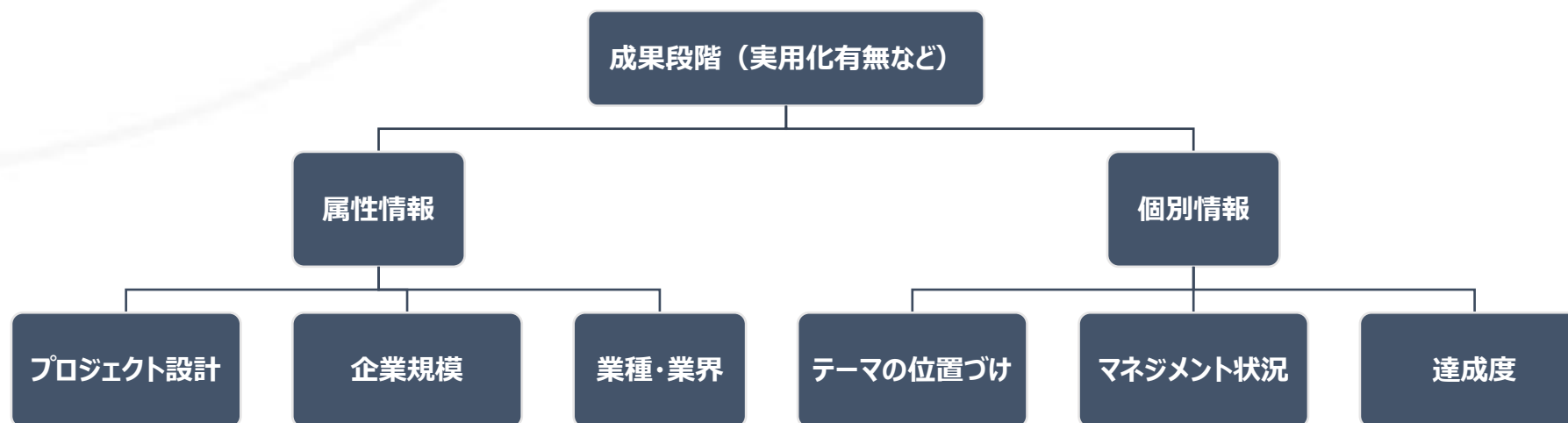
① 2026年度の追跡アンケートの調査票

② 次年度以降の運用拡張に関する提案

- 本企画の立案において、NEDOから提供する2024年度の委託調査でまとめた回答の統合データを基に、現状の追跡アンケート調査に関する運用や回答データをレビューすることで、アンケート活用の現状と利活用ニーズを踏まえたデータ活用方針を整理する。
- NEDOの技術開発プロジェクトのマネジメントに係る多様な情報の関係性や時系列などの位置づけを整理し、データ利活用のコンセプトを設定すること。
- 追跡アンケート調査の設問設計と運用の刷新を見越したデータ取得～分析の実務とデータ活用までのサイクルを構造化したデータ活用施策のドラフト案を作成する。

● 過去の成果段階のデータ収集とそれを利用した個別テーマのモニタリング手法の検討

- ✓ 2024年度の委託調査では、過去データを統合化し、属性を分類・グループ分けすることで、成果段階の表現の仕方や過去の傾向を試行的に整理。
- ✓ 2025年度委託調査では、過去の蓄積データをヒントに、個別テーマのモニタリングに際して可視化すべき事項を検討することで、どのようなアンケート設問設計にしたらよいか等の仮説を基に議論を進めたい。



- NEDOから提供する現行のアンケート調査票の設問一覧をレビューし、従来のアンケート調査票との相違点・改善点を確認し、従来設計の思想から新規設計への変更点を資料にまとめること。
- データ活用施策のドラフト案を基に2026年度に実施する追跡アンケート調査（2026年8月～9月に配信予定）で使用するアンケート設問を検討し、新規の調査票を詳細設計すること。
- 外部有識者等から回答者の視点に立ったコメントもしくは模擬回答を取得し、新規に設計するアンケート調査票へフィードバックする。

アンケートの設問設計の観点

- 回答者の成果段階（研究・開発～実用化～事業化、もしくは中止・中断）に応じた設問設計。
- 実務的な課題である複雑化しつつあるアンケート調査票を最適化し、解釈性の高い設問設計。
- データ分析の高度化と回答者心理・負担のバランス等について

事業類型	送付先	調査票種類（年度ごとに設問変更あり）
プロジェクト	企業	● 「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 ● 「簡易上市」：製品化・上市に関する設問で構成 ● 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成 ● 「簡易中止」：中止・中断段階に関する設問で構成
プロジェクト	企業以外（大学・国研）	● 「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 ● 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成
制度・事業	企業	● 「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 ● 「簡易上市」：製品化・上市に関する設問で構成 ● 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成 ● 「簡易中止」：中止・中断段階に関する設問で構成
制度・事業	企業以外（大学・国研）	● 「終了直後調査」：現在の開発状況とNEDOのマネジメントに対する設問で構成 ● 「簡易調査」：研究段階・開発段階に関する設問で構成

実施事項	内容
③ データ取得後の運用スキームの検証について	● 設計したアンケート設問から得られる回答についてテストデータを用いた検証を行い、データ取得～分析の実務とデータ活用まで一連の作業が円滑に実現できるかをレビューする。 ● レビューの結果、データ活用方針の狙いが満たされるのかなどの観点で設問やモデルを修正すること。 ● データ活用方針を踏まえ、管理部門・プロジェクト推進部門のユーザー視点を考慮した技術開発マネジメントへのフィードバックや階層的なデータ可視化など組織内のデータ活用の運用定着イメージを提案し、運用の点検・周期を含めた継続的に運用可能な分析スキームを示すこと。
④ 次年度以降の対応方針と検討課題について	● 上記までの検討の結果を踏まえたフィードバックとして、当初作成した企画のコンセプト資料、ドラフト案、追跡アンケートの設問・調査票をリバイズし、NEDOが2026年度実施する追跡アンケート調査の回答データ取得後の作業方針を含め資料にまとめること。 ● 本調査で解消できなかった課題と解決方針を提示するとともに、追跡アンケート調査の運用や情報取得体系の拡張やデータ駆動型の管理の実装によってマネジメント手法が高度化できる余地が考えられる場合には、次年度以降の対応方針としてまとめること。
⑤ 有識者会議の設置と進捗報告について	● 事業期間中に、進捗状況の報告と対応方針について外部有識者を交えた議論の機会を設けること（開催方式を含めNEDOと協議の上決定する）

- 外部有識者による採択審査委員会とNEDO内の契約・助成審査委員会の二段階で審査します。
- 採択審査委員会では、「提案の適合性」、「提案の具体性・優位性」、「実施体制・能力」、「提案の経済性」、「経営基盤」、「ワークライフバランス等推進状況」の審査基準を設定します。
- 契約・助成審査委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。

想定される調査遂行 におけるポイント

- ✓ 調査の趣旨・意図に対する理解・洞察について
- ✓ NEDOの特有の技術開発領域やステークホルダーとその関係性の理解・洞察について
- ✓ イノベーションプロセスやマネジメント等の概念の理解・洞察について
- ✓ 必要なマイルストンの設定およびスケジュールの効率・実現性について
- ✓ コンセプト・データ活用施策の案作成に向けたポイントや構成要素の理解・洞察について
- ✓ 技術開発における情報やその性質など、各種データの整理方針について
- ✓ 回答者心理・負担などの配慮・懸念点等のアンケート設計上の配慮について
- ✓ 適切な外部有識者の選定とコミュニケーションについて
- ✓ 役割分担とその遂行体制について
- ✓ 多様な産業における技術開発やイノベーションに関する知見・ノウハウについて
- ✓ 統計や機械学習、生成AIのトレンドや分析実務に関する知見・ノウハウについて
- ✓ 顧客のニーズ把握に基づくデータ分析手法の提案を行った経験について
- ✓ データ活用施策におけるあり方や指標の検討、それらを組織の運営・業務に反映した経験・実績について
- ✓ 予算の範囲内の積算額であり、その妥当性について

- 本公募の内容に関する質問等は説明会で受け付けます。
- それ以降のお問い合わせは、2025年6月26日（木）から7月15日（火）の間に限り、以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。
- お問い合わせの内容に応じて、公平を期すために回答を本公募のウェブサイト上に公開する場合があります。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

事業統括部 追跡調査・評価課 立花、柳田、薄井

E-MAIL : tsuiseki_koubo@nedo.go.jp

関連資料は公募ページをご参照ください。